

1月29日 キューバの地震

2020年1月29日04時10分（日本時間、以下同じ）にキューバの深さ10kmでMw7.7(Mwは気象庁によるモーメントマグニチュード)の地震が発生した。この地震は、発震機構（気象庁によるCMT解）が北西－東南東方向に張力軸を持つ横ずれ断層型で、北米プレートとカリブプレートの境界で発生した。

気象庁は、この地震に対して、同日04時38分に遠地地震に関する情報（日本への津波の影響なし）を発表した。この地震によりケイマン諸島（イギリス領）で0.11mの津波を観測した。

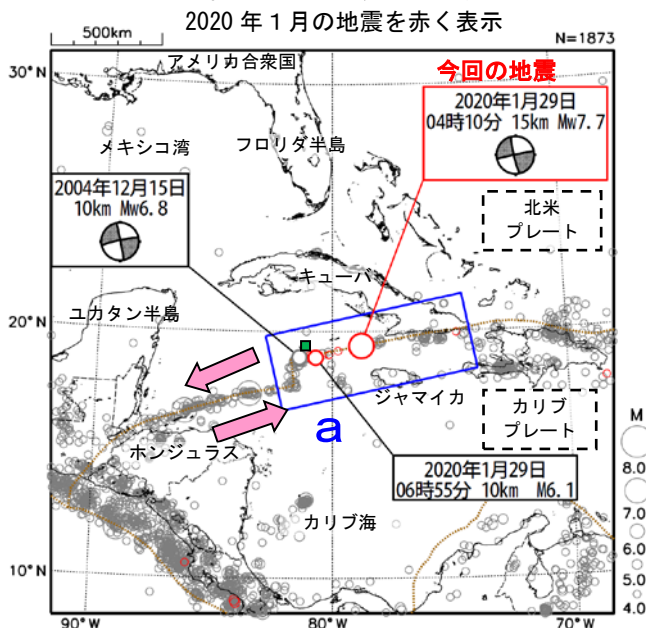
また、この地震の発生から約3時間後に約200km西方のホンジュラス北方の深さ10kmでM6.1の地震が発生した。

2000年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域a）で、2004年12月15日にMw6.8の地震が発生している。

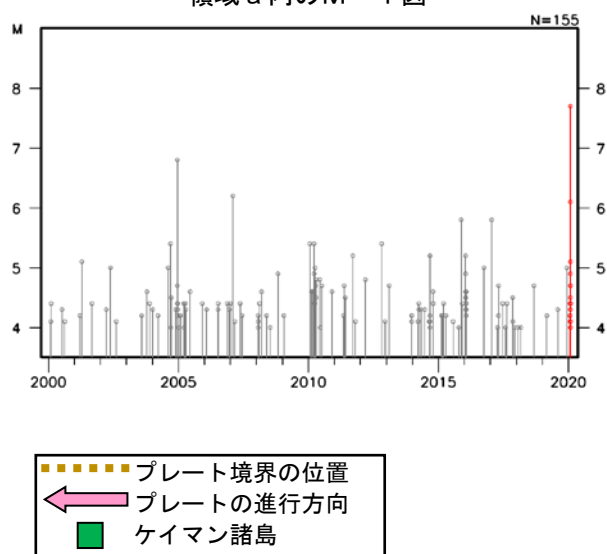
1980年以降の活動をみると、ホンジュラス北方からハイチにかけての地域（領域b）では、M7.0以上の地震が4回発生している。2010年1月13日のMw7.1の地震では、ハイチで死者30万人以上の被害が生じた。

震央分布図

(2000年1月1日～2020年1月31日、
深さ0～30km、M≥4.0)

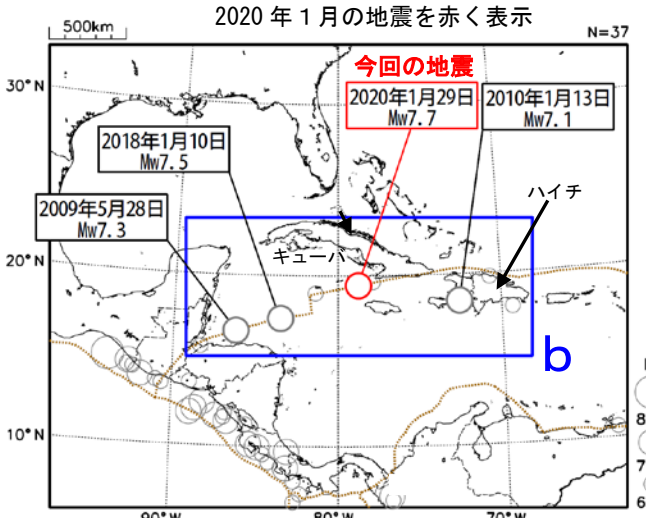


領域a内のM-T図

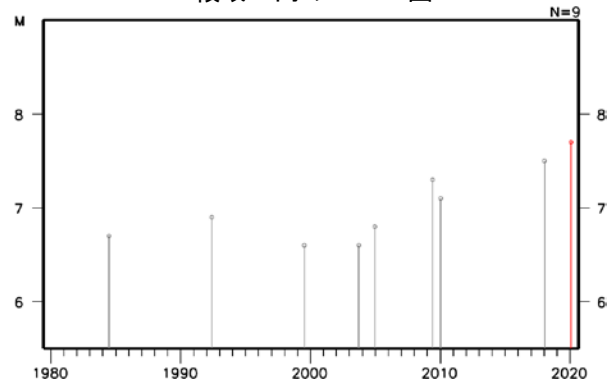


震央分布図

(1980年1月1日～2020年1月31日、
深さ0～50km、M≥6.5)



領域b内のM-T図



※本資料中、(上図) 今回の地震の発震機構とMwは気象庁、2004年12月15日の地震の発震機構とMwはGlobal CMT、その他の震源要素は米国地質調査所（USGS）による（2020年2月2日現在）。今回の地震の津波の高さは、米国海洋大気庁（NOAA）による。
(下図) 図中のMwは気象庁、その他の震源要素はUSGSによる。過去の地震の被害は、宇津の「世界の被害地震の表」による。
プレート境界の位置と進行方向はBird (2003) *より引用。

* 参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.